

微生物殺虫剤

兼商 チューンアップ

チューンアップは株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。

顆粒水和剤

野菜類、茶、果樹、水稻で幅広く使える!

- コナガなど薬剤抵抗性のついた害虫にも有効です。
- 魚・鳥・蜂などに影響が少ない微生物薬剤です。
- 農薬使用回数にカウントされません。(有機JAS 適合資材)



アオムシ



コナガ



ヨトウムシ

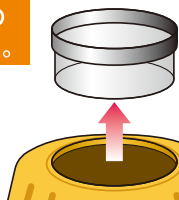


ハイマダラノメイガ

チューンアップの溶かし方 POINT

散布液調製の際は、
水をかきまぜながら
本剤の所定量を徐々に
加えてください。

タンクの
網を取る。



少しずつ
加える。



兼商 微生物殺虫剤

チューンアップ



詳しい製品
情報は
HPでご確認
頂けます。



顆粒水和剤

チューンアップは株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。

BT水和剤 有効成分:パチルス チューリンゲンシス菌の芽胞及び産生結晶毒素……10.0%(力価として…1000B.m.t. 単位/mg)
性 状:暗褐色水溶性細粒および微粒 包 装:250g×20袋、100g×50袋

速効的な食害阻止効果!!

■キャベツ コナガに対する効果 (SDS バイオテックつくば研究所社内試験)

BT剤を処理したキャベツ葉へコナガ3令幼虫を10頭放虫。4時間後に食害状況を観察・測定。



わずか
4時間で
この効きめ

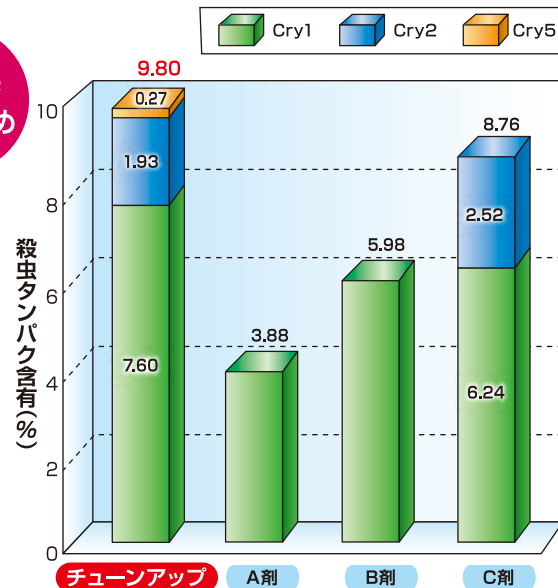
薬剤散布・風乾・コナガ(3令)放虫24時間後の食害状況と摂食阻害率

	無処理	BT剤C	チューンアップ
食害面積(%)	60.0	15.0	3.0
摂食阻害率(%)	0.0	75.0	95.0

若令幼虫に有効です!
(初期防除を心がけましょう。)

同様条件でコナガ4令、5令幼虫を供試した場合も、他BT剤に比べ、**摂食行動の停止が早く、食害度も小さい傾向**でした。

チューンアップの含有殺虫タンパクの種類と割合



適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	BTを含む農業の総使用回数
水稲	フタオビコヤガ	16倍	0.8ℓ/10a	発生初期 但し、 収穫前日まで	-	無人航空機 による散布	-
	コブノメイガ イネツトムシ	2000~4000倍	60~150ℓ/10a				
	ニカメイチュウ	1000~2000倍					
野菜類 からしな(種子)	アオムシ コナガ オオタバコガ ハイマダラノメイガ	2000~3000倍	100~300ℓ/10a	発生初期 但し、 収穫前日まで	-	散布	-
	ヨトウムシ	2000倍					
	ウリノメイガ	3000倍					
果樹類	ハマキムシ類	4000倍	200~700ℓ/10a	発生初期 但し、摘採前日まで	-	-	
りんご	シャクトリムシ類						
かんきつ	ケムシ類	2000~4000倍					
茶	アゲハ類						
茶	チャハマキ チャノコカクモンハマキ ヨモギエダシャク チャノホソガ	2000倍	200~400ℓ/10a	発生初期 但し、摘採前日まで	-	-	-
	ストック						
なたね	コナガ	2000~4000倍	100~300ℓ/10a	発生初期	-	-	-
樹木類	ケムシ	4000倍	200~700ℓ/10a				

△ 効果・薬害等の注意

- 本剤の所定量を所定量の水にうすめ、よくかきまぜてから散布してください。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。
- 使用に当っては農着剤を添加することが望ましいです。
- アルカリ性の強い、石灰硫黄合剤、ボルドー液などの農業及びアルカリ性の強い葉面施用の肥料などとの混用は避けください。
- 本剤は若令幼虫に有効なので、若令幼虫期に時期を失わずに散布してください。
- 室に対する毒性があるので、養蚕主要県その他主要養蚕地帯及び養蚕農家、共同飼育場などの周辺では施用しないでください。またこれ以外の場所でも付近に養蚕場がある場合は飛散してかからないように風向等に十分注意して散布してください。なお本剤の使用に当っては散布区域の使用規制に従ってください。
- 本剤は吸湿すると固化したため、効果が低下したりすることがあるので、貯蔵に当っては湿気に注意し、特に使用済りの薬剤は密封して乾燥した冷暗所に貯蔵してください。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守ってください。
 - ①散布は散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ②散布に当っては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ③散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他の散布装置の十分な点検を行ってください。

- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

△ 安全使用上の注意

- 散布の際は農業用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけてください。
- 夏期高温時の使用をさけてください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意してください。

保管…密封し、直射日光を避け、食品と区別し、冷凍・乾燥した所。

●ラベルをよく読む。 ●記載以外には使用しない。 ●小児の手の届く所には置かない。 ●空袋はほ場などに放置せず、適切に処理する。

この印刷物の記載内容は2024年1月現在のものです。

T24A01(チューン総合)